



うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~7	1. 播種量 (うす播きの励行) 2. 育苗日数 (健苗の育成) 3. 植付本数 (細植えの励行) 4. 栽植密度 (優良茎の確保) 5. 適正な施肥 (栄養凋落防止と登熟向上) 6. 田植え時期 (早植えの防止) 7. 中干し・溝切り (遅発分けつの抑制)	
8	除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・7月上旬までの追加除草 ・水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	水管理 (飽水管理の徹底)	・中干し後から出穂までの約 1か月 (コシヒカリ) の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの 1か月以上 の飽水管理
10	刈取時期 (適期刈取りの励行)	・籾の黄化程度に応じた刈取り

水稻の生育はゆめみづほ、コシヒカリともに平年より1~2日程度早くなっています。
生育状況 (管内生育観測田平均、7月18日調査)

ゆめみづほ								
草丈 (cm)			茎数 (本/株)			茎数 (本/m ²)		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
83	86	84	33	26	30	614	496	503

コシヒカリ								
草丈 (cm)			茎数 (本/株)			茎数 (本/m ²)		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
83	87	85	22	17	23	426	336	421

- ◎ゆめみづほの出穂期は平坦部で7月16日頃、山間地帯で7月18日頃 (平年より2日早い)
- ◎コシヒカリの出穂期は平坦部で7月29日頃、山間地帯で7月31日頃 (平年より1日早い)

カメムシ注意 基幹防除を徹底し斑点米を追放しよう!!

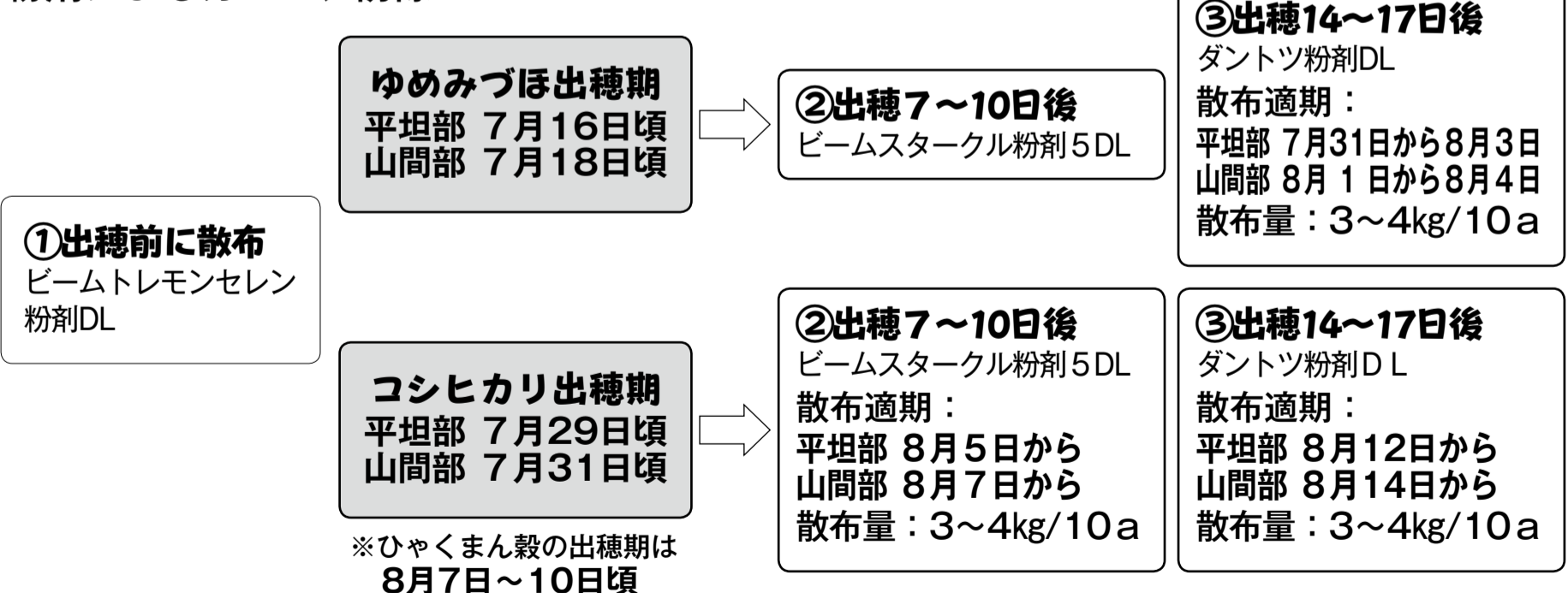
石川かほく環境にやさしい農業のすすめ ~粒剤によるカメムシ防除~

飛散の少ない粒剤での省力散布をおすすめします。

キラップ粒剤 カメムシ類、ウンカ類

散布適期：出穂期 (穂が半分くらい出揃った頃、収穫14日前まで) 散布量：3kg/10a (湛水状態で散布)

粉剤によるカメムシ防除



※Beam Star Circle powder 5DL and Dantotsu powder DL are **cannot be harvested 8 days after spreading**.
※Spreading should avoid strong winds to prevent drift.

裏面に続きます

薬剤の使用基準を守って安心なかほく米づくり

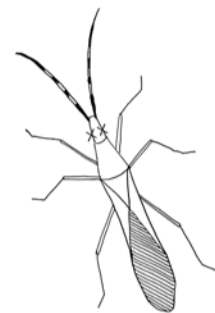
病害虫防除後に栽培履歴へ記入しよう!

斑点米カメムシ類の多発に注意!!

7月11日付で、斑点米カメムシの多発注意報第1号が発令されました。出穂した水田へのカメムシの侵入が確認されていますので出穂後の防除を徹底してください。

また、7月24日にかほく地区の斑点米カメムシの水田侵入量を調査したところ、1地点平均2.3頭と前年並に多くなりました。特に山間地域（山が圃場近くまで迫っている地域）でのクモヘリカメムシが多く、近年の約9倍となりました。クモヘリカメムシは大型の飛翔性カメムシで登熟後半まで籾を吸汁します。

山間地域やカメムシの常発地域では斑点米の多発が懸念されますので、出穂後の防除を徹底しましょう。



これが大事!

《粉剤体系》

3回目（出穂後14～17日後※） ダントツ粉剤DL 3～4kg/10a

※2回目防除の1週間後

《粒剤体系》

（出穂前にイモチエースクラブ粒剤を散布した場合も散布）

出穂期（穂が半分くらい出そろった頃※） キラップ粒剤 3kg/10a

※散布時期がわからない場合はJAの担当TACまで問い合わせください。

乳白粒・胴割粒の発生に注意!!

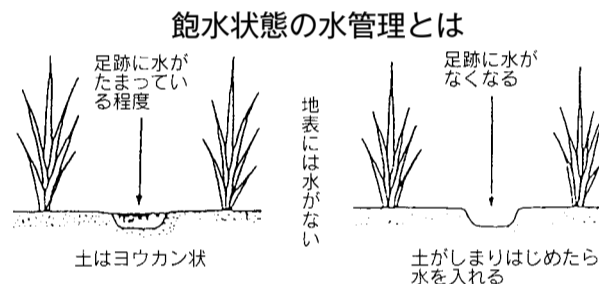
土壌の水分不足や、出穂期～出穂20日後の高温（日平均気温27℃以上）により、乳白粒・胴割粒が発生しやすくなります。

乳白粒・胴割粒発生防止 ～最後の決め手は水管理～

○ 3～4日ごとの通水で根の活力を維持!!

＝常に田面が濡れている状態を維持

- 通水は夕方に行い、刈り取り前5日頃まで継続しましょう。
- フェーンには要注意：フェーンの予報がでたら通水、湛水して備えましょう。
- 日中の常時湛水は厳禁：根が傷んで乳白粒、胴割粒の発生を助長します。



飽水状態の水管理とは

足跡に水がたまっている程度

土はヨウカン状

足跡に水がなくなる

土がしまりはじめたら水を入れる

地表には水がない

「うま味1番味自慢コンクール」審査方法

目的 おいしい米づくりの実践と一般消費者による食べ比べによる食味を総合的に加味したコンクールの実施により最高級の石川かほく米づくりによりブランド力を高めることを目的とする。

審査方法 ①参加申込書に基づき、石川県県央農林総合事務所及びJA石川かほく役職員等で構成される審査委員会にて書類審査し、5点を選考する。（主食用米に限る）

②JA秋の展示会にて消費者による食べ比べ審査を行い、上位3点にて以下の賞を決定する。

(1)最優秀賞 1名 (2)優良賞 1名 (3)努力賞 1名

参加申込期限 令和元年8月末日

その他 参加申込書については最寄りの支店または営農経済部の窓口にて配置してありますので、多くのご参加をお願い致します。

「かほく米トータルコスト低減運動」の実施中

目的 平成30年度まで行ってきた石川かほく米555共励会から引継ぐ運動であり、1俵あたりにかかる生産コストを引き下げ、所得向上を目指すものであります。目標総生産費を目指し、皆さんに実践のご提案をするものです。

（この時期に行う実施内容）

労働費削減 ・カメムシ防除タイミングの最適化→出穂後の適時防除

生産性向上 ・水管理の徹底→出穂期の飽水管理

※イノシシの被害が見られた場合は、JAもしくは農業共済（239-2555）までご連絡下さい。

◎営農に関するお問い合わせはJA（☎288-7555）、県央農林総合事務所（☎239-1751）におたずねください。

適切な水管理で元気な稲！
乳白・胴割れを防止しよう!!

出穂後の防除を徹底し、
斑点米を追放しよう!!